

事務事業チェックシート

事務事業No 346 事業名 骨髄バンク登録事業

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	1	地域福祉と健康づくりの推進
施策	5	保健医療対策の推進
基本方針	2	難病患者への福祉サービス制度の啓発・支援の充実

事業種別	継続	主な事務事業
事業期間	永年	～
事業実施の根拠法令	移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律	
関連個別計画	地域保健医療計画	
担当課・担当課長 (Tel)	保健対策課	小浦保則 (488-5115)
関連課		

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費
	その他		
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務
	その他	○	
会計・予算区分	会計		一般会計
	款		衛生費
	項		保健衛生費
	目		保健所費
	大事業		保健所事業
事項		骨髄バンク登録事業	

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束				○

1 事業概要及び実施内容

事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
骨髄バンクとは、公益社団法人日本骨髄バンクが主体となり、骨髄移植や末梢血幹細胞移植の機会を必要としている白血病等の血液疾患の患者と患者のために提供したいドナーの橋渡しを担う組織活動である。骨髄移植のために白血球のHLA型が適合する必要があるが兄弟姉妹間以外は適合する確率が低いため、骨髄移植を受けられない患者も少なくない。そのため骨髄バンクドナー登録の啓発活動を行うことにより、ドナー登録者の確保を図る。	献血併行型骨髄バンクドナー登録会を実施し登録の機会を増やして促進に努める。市役所前・イベント等での献血行事に併行して、ひこばえ（和歌山血液疾患患者家族の会）などのボランティアによるドナーバンクへの説明をおこないます。献血で引き続き、HLA型検査を受け（2mlの採血を行います）ドナー登録を実施する。				
実施内容	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	対象者に対して、骨髄バンク事業の普及啓発を図るとともに、ドナー提供者の拡大を図るため、献血併行型骨髄バンクドナー登録会を行った。	対象者に対して、骨髄バンク事業の普及啓発を図るとともに、ドナー提供者の拡大を図るため、献血併行型骨髄バンクドナー登録会を行った。	対象者に対して、骨髄バンク事業の普及啓発を図るとともに、ドナー提供者の拡大を図るため、献血併行型骨髄バンクドナー登録会を行う。	対象者に対して、骨髄バンク事業の普及啓発を図るとともに、ドナー提供者の拡大を図るため、献血併行型骨髄バンクドナー登録会を行う。	対象者に対して、骨髄バンク事業の普及啓発を図るとともに、ドナー提供者の拡大を図るため、献血併行型骨髄バンクドナー登録会を行う。

2 事業コスト

事業費等 千円	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算
	事業費		29	28	29	29	29	29	29	29
	伸び率 (%)		-	-	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	人件費	常勤職員	2,157	2,198	2,148	1,848	2,148	2,148	2,148	2,148
		非常勤職員		0	0	0	0	0	0	0
		小計	2,157	2,198	2,148	1,848	2,148	2,148	2,148	2,148
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一般財源（税等）	29	28	29	29	29	29	29	29	
	所要人数	常勤職員	0.29	0.29	0.29	0.25	0.29	0.29	0.29	0.29
非常勤職員		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0	0	
主な予算内訳		消耗品費 29千円								

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況					平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	献血併行型骨髄バンクドナー登録会の回数					年度目標値	2	4	5	5	5
						実績値	1	2			
	単位	回	全体目標値	5	全体目標達成度	50.0%	50.0%				
						年度目標値					
						実績値					
単位		全体目標値		全体目標達成度							
成果指標	ドナー登録者数					年度目標値	25	25	25	25	25
						実績値	0	13			
	単位	人	全体目標値	25	全体目標達成度	0.0%	52.0%				
						年度目標値					
						実績値					
	単位		全体目標値		全体目標達成度						

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	○ 達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>全国ドナー数の目標設定ですでに県目標は達成されているが、実際に移植を受けることができる方は6割にとどまっている。ドナーに選ばれたときに提供しやすい環境づくりを検討する必要がある。</p> <p>献血併行型骨髄バンク登録会の開催によりコスト削減に努めている。</p>
「見直し」 「改善」案	<p>ドナー登録会の開催数や登録者数が目標に届いていないため、関係機関の協力を得て、開催を計画する。27年度は新たな開催場所の確保に向け関係機関に依頼している。</p>